

Viewpoint

「沖繩の異様なメディア事情」(7月21日付、原題・The Media Situation in Okinawa)と題された1回目の論文では、経済的な利害や異なる見解を恐れる沖繩の閉鎖的な地元メディアの環境を論じ、沖繩のメディアが強い偏見を持ち、外部の情報に欠如している状態を「異常」で「不健全」だと述べた。

改革を要する沖繩メディア

エルドリッチ研究所 代表・政治学博士 ロバート・D・エルドリッチ



外部からの監視も必要 偏向正し健全な民主主義に

起業者であり、最も偉大な民主主義者であるトーマス・ジエファソンが、1787年に「新聞なしの政府と政府なしの新聞、いずれも置くとを拒み、真実でないことを躊躇せずに後者を望むだろう」という重要な言葉を残している。一般大衆は、もちろん必ずしもメディアがそのような役割をいつも果たしているとは思っていないが、我々はメディアが常に高い目標を追い求め、共通の願いと普遍的な概念を提供することに希望と期待を抱いている。逆にいえば、メディアは、当然、政府その他の組織・団体などがチェックされているように、ハイアスやその他の要求に対して、より速やかに対応するシステムが作られる。このことは実に重要な概念であって、アメリカ独立宣言の主要な

琉球新報と沖繩タイムズは共同通信の記事の配信を受ける顧客であるという関係を利用して、共同通信に対して自分たちのイメージ通りに沖繩をカバーするよう強く要請している。私は彼らに、あなたたちはこのような圧力を受けているなら公表すべきだし、そうしなければ、いわゆる「沖繩問題」と呼ばれるものの真相は決して国民に知らされないうままに、偏った報道や誇大報道、あるいは、事実ではない虚報の「沖繩問題」すら論じている。被害者」が加害者になっていく、と言ったのだ。このようなことは、同じトーマス・ジエファソン(第3代アメリカ大統領)が、メディア当時の新聞やパンフレット)もまた非常に無責任になりかねないという認識から「何も読まない人の方が新聞しか読まない人よりも教養がある」と警告されたのと同様のことである。私たちは深く幅広い情報を得るために、またメディアが必要だが、同時にそのメディアが時に(場合によっては定期的に)発信する過剰な無責任さ

◆国民負担を各紙強調

つい最近までは、連休入りの19日未明に成立した安保関連法に関する社説が左派の新聞に異常に目立っていたが、これを除くと、経済関係では、やはり、例の財務省案に対する社説が少ななかつた。財務省案とは消費税率を10%に上げる際、同省がまとめた負担軽減案のことである。前回の小欄掲載(10日)以降、読売と産経がそれぞれ、11日付と16日付、12日付と16日付の2回、朝日、毎日、日経11日付(本紙13日付)が1回掲載した。前回評した分を含めると、6日以降で読売、産経は3回、毎日2回である(東京はなし)。



◆新聞

内容は、朝日と産経は課題は多いものの一部評価した以外、前回にもまして厳しい批判を展開。見出しだけでも「選付案は直ちに撤回を(毎日)」、国民への配慮を欠く財

務省案(11日付読売)、「負担も手間も強いのか(12日付産経)」、「誰のための負担軽減策か(本紙)」などという具合である。財務省案に対して、各紙から厳しい批判が出て来るのは当然である。負担軽減案の趣旨は、文字通り、消費税増税による痛税を緩和し、個人消費の落ち込みを緩和するためのものだが、財務省案は「消費税増税に伴う痛税を和らげる効果に乏しい上に、国民に無用の負担を強いる(11日付読売)」、からである。財務省案は全品目に10%の税率を課した上で、酒類を除く飲食料品の2%分を、マイナンバーカードを使い、後に還付するといったもの。消費者は買い物時には全てを10%で支払う必要はなく、また、還付を受けるには消費者自身が申告手続きを行う必要がある。しかも、還付額には一人4000円程度という上限付きである。まさに産経(12日付)などが言う通り、消費者に「負担も手間も強い」ものなのである。

◆公約違反責める読売

これから運用が始まるマイナンバー制度を活用するため、ナンバーを読み取る機器を全国の小さな小売店まで設置できるのかという時間の問題や、個人情報流出への対策は大丈夫なのかという懸念もある。そして何より、痛税緩和の期待できない中で、10%への消費増税が、現在でも成長力の乏しい経済に与える悪影響である。「税制を巡る利害を調整し、

◆景気如何で再延期も

軽減税率を導入しているのは欧州各国のほか、アジアにも韓国やタイなどがある。読売(16日付)が「日本だけ作成が難しい事情があるとは思えない」というのも肯げ。そして、産経(19日付)が強調するように、「負担軽減策は、わかりやすいものでなければ消費減退を抑えることは期待できない」ため、それには買い物のたびに効果を実感できる軽減税率が最適(同

「軽減税率」で財務省案を徹底批判し欧州型の検討求めた読売、産経

19日、ドイツ南部ミュンヘンで始まったビール祭「オクトーバーフェスト」で最初の1杯を受け取る人々。10月4日までの開催期間中、約600万人の訪問が見込まれている。(AFP時事)

写真トピックス

待ちわびた1杯

かどうか。これまでの議論は、あくまで10%に上げる場合に限りであり、景気回復如何によっても再延期も予想しておくべきであろう。(床井明男)

OPINION

2015.9.24

日本の島シリーズ

島名: 佐久島(さくしま) 都道府県名: 愛知県 市町村名: 西尾市 面積: 1.81km² 人口: 271人 概略: 三河湾最大の島。アサリとコノワタが特産。2001年から「祭りアートに出会う島」として島づくりを推進。 出典(日本観光センター資料など)

時言

児童福祉司 格に変わる同法での改正案を来年の選出前に提出する方針。全国で勤務する児童福祉司は、2014年4月時点で2829人。児童の虐待対応件数はその14倍に達している。児童心理を学び、児童と1年以上働いた場合、児童福祉司の配置などに任用資格が得られる。厚生労働省は、専門性を向上させるため、国家資格化と合わせて増員を求め、試験を課す国家資格を出す。

Acqua Vivo

炭酸水 ハジけるピュアな「生きた水」を宅配便でご自宅へ!

ご注文はFAX 03-5778-3852

1ケース(20本)2,400円 送料は本州に限り無料!

2ケース(40本)4,400円

四国200円、北海道・九州300円、沖縄600円。尚、代金のお支払手数料はお客様の負担となります。

あと味スツクリの刺激あるフレーバー お料理や食事にも合います

今までの炭酸水とは一味違う胡椒のようなピリリとした味わい特徴です。スポーツや入浴のあとはもちろん、お肉料理、スパイス料理などと一緒にお飲みいただいたり、ウイスキーやワインなどとブレンドしてもおいしくいただけます。ご家庭や野外などで楽しみいただけます。

ミネラル豊富ゼロカロリー

エネルギー、タンパク質、脂肪、炭水化物はゼロ。香料、人工甘味料などはまったく使用していません。ゼロカロリーでミネラル豊富なスパークリング・ミネラルウォーターです。

栄養成分表示(100mlあたり) 炭酸水(中硬水)、エネルギー、タンパク質、脂肪、炭水化物...0、ナトリウム...2.45mg、カルシウム...3.28mg、マグネシウム...0.53mg、カリウム...0.17mg

輸入・販売元 オールネクス株式会社 http://www.acqua-vivo.com お問い合わせ 0120-838-078 受付9:30~17:30(土・日 祝日除く)

アクア ヴィーボ FAX注文承り書 No.1522

フリガナ お名前

お届け先住所

TEL

ご注文ケース 1ケース 2ケース

お支払い方法 代金引換 郵便振替(前納)

配達希望日 月 日 午前中 12~14時 14~16時 16~18時 18~20時 20~21時

★FAXは24時間受付(土・日祝日除く) ※注文承り書を切り取ってお使い下さい。

●代金引換 商品到着時にヤマト運輸の担当者へ、お支払い下さい。(手数料280円)

●郵便振替 口座番号 00130-6-417432 加入者名 アクアヴィーボ 手数料 口座130円 ATM 80円

●代引決済の場合、申込日より2~4日後のお届けとなります。郵便振替の場合、お支払い日より5日後のお届けとなります。